



友達登録は
こちらから



PC・スマホ フィーチャーフォン



新型コロナワクチン接種を実施しています

問 市コールセンター ☎0120-840-085



接種は強制ではありません。
効果や副反応を理解したうえで接種をしてください。



1・2回目接種について

使用している従来型ワクチンは年内で国からの供給が終了予定です。年内に1・2回目接種を完了することをご検討ください。

オミクロン株対応ワクチン接種を実施しています（予約制）

対象 コロナワクチンを2回以上接種した12歳以上で最終接種日から3か月以上経過した方 ※接種間隔が短縮されました。

使用ワクチン 原則ファイザー社製2価ワクチン（BA4-5）

接種券の発送

区分	発送等
3・4回目未接種者で手元に接種券のある方	手元の接種券を使用してください。
12歳～59歳の方で3回目接種が済んでいる方	接種から3か月経過した方から順次接種券を発送しています。
4回目接種を完了した方	

※オミクロン株対応ワクチンは1人1回接種できます。

お子さんの新型コロナウィルスワクチン接種について

●生後6か月～4歳の乳幼児への接種を開始します（予約制）

接種回数 3回

接種券 対象者には準備ができ次第、接種券を送付します。接種券が届きましたら案内に沿って実施医療機関に予約してください。

効果 オミクロン株流行下における3回目接種後の発症予防効果は73.2%と報告されています。

副反応 注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等、稀におこる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。

●5歳～11歳の接種（1・2回目および追加）は下記のとおり実施しています

対象者には接種券を発送しています。届きましたら予約をしてください。

年齢	接種方法等
5歳～7歳	接種券に同封のお知らせに記載の医療機関で接種
8歳～11歳	11月2日（水）、4日（金）、25日（金）（午後6時30分～8時30分）に福祉センターで実施

忘れていませんか 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種

問 健康センター ☎23-2191

肺炎球菌は、気管支炎や肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。このことから、高齢者を対象とした定期接種を実施しています。

定期接種の対象者は、毎年度異なります。接種の機会を逃さないようご注意ください。

予診票の有効期限 令和5年3月31日

対象 令和5年4月1日時点で65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳

※対象者には4月に黄色封筒（紫色の線で印刷）で予診票を送付済み。

※過去に接種済み場合は、対象になりません。

※4月以降に転入した場合は、お問い合わせください。



婦人がん検診を実施します

乳がん・子宮頸がん

対象 市内在住の女性で、令和5年4月1日までに40歳以上（子宮頸がんは20歳）となり、令和3年度に検診を受診していない方。

費用 乳がん…1,000円▷子宮頸がん…500円。

検診期間 令和5年3月31日まで

申込期間 11月15日（必着）まで

申込方法 次のいずれかの方法で健康センターへ

▷郵送 ハガキに図（下記）のとおり記入し〒198-0042青
梅市東青梅1-174-1 健康センター婦人がん検診担当へ

▷電子申請 2次元コード参照

▷持参 健康センターにある検診申込書に記入し提出

受診方法 受診票を12月上旬～中旬までに順次発送します。受診票が届いてから実施検診機関へ予約をし受診してください。



△子宮頸がん



△乳がん

〇〇がん検診希望
住所
氏名（ふりがな）
生年月日（和暦）
電話番号

青梅市医師会健康コラム94

その症状、心筋梗塞かも？

市立総合病院循環器内科部長 栗原 顕

冬になると増える病気はさまざまありますが、循環器領域でその代表的な病気が急性心筋梗塞です。心筋梗塞は心臓の筋肉に血液を送る血管が血栓によって詰まり、心筋が急激に壊死していく病気です。発症すると2割以上の方が病院にたどり着く前に命を落とすとされています。また、時間とともに壊死する心筋の量も増えるため、治療までに要した時間が後の寿命に大きく影響します。そのため、いかに早く救急車を呼べるかが大きなカギとなります。

心筋梗塞の症状は「突然の激しい胸の痛みが20分以上続く」のが典型的ですが人によって「圧迫感」「灼熱感」などさまざまに表現されます。糖尿病や高齢者は症状が出にくいと言われており注意が必要です。症状が現れる部位は主に胸ですが、他にもみぞおち、背中、腕、肩、歯やあごなどです。

また心筋梗塞を発症した半数以上の方が発症の数日前から前兆を感じるようで、症状が繰り返される場合は早めに医師にご相談ください。

急性心筋梗塞は突然おきる病気、健康診断などでリスクが高いかどうかを知ることができても「いつ発症するか」を予測する事は困難です。糖尿病、高血圧症、脂質異常症など心筋梗塞のリスクがある方はこのような症状に気を付け、20分以上症状が続く場合は「気のせいかな？」と片付けずに救急車を呼びましょう。

問 健康センター ☎23-2191

11月11日は介護の日

介護について考えてみませんか？

問 高齢者支援課包括支援係



地域に暮らすすべての人で支え合っていくのが、これからの「介護」です。この機会に、介護について考えてみませんか。

★家族介護教室

定員 各回先着15人程度（予約制）

○杖や靴の選び方・歩き方チェック講座

時間 午後1時30分から（45分程度）

○歩行補助具の紹介・選び方講座

時間 午後2時30分から（45分程度）

申し込み 電話または直接高齢者支援課包括支援係（市役所1階）へ

★作品展・市内介護施設の紹介

時間 午前10時～午後4時

★各種相談コーナー（介護全般や介護職に関すること）

時間 午前10時～正午、午後1時～4時

○介護施設職員による相談コーナー

○ハローワーク青梅による職業相談コーナー

○地域包括支援センター職員による相談コーナー

いずれも

日程 11月11日（金） 会場 市役所2階会議室



△昨年度の作品展